



【イベント】善循環の輪 島根の集い in 雲南 雲南市古代鉄歌謡館で開催



EM の効果に期待する速水雄一雲南市長

6 月 24 日、島根県雲南市の古代鉄歌謡館におきまして、「善循環の輪 島根の集い in 雲南」を開催し、島根県内各地から約 120 名の方にご来場いただきました。

集いは、近畿・中国地区担当の土井博義理事の開会の挨拶で始まり、その後、速水雄一雲南市長にご登壇いただきました。市長より、雲南市及び島根県が、EM を利用した河川浄化及び鳥獣対策にいかに関心しているかの熱のこもったお話をいただきました。次に、比嘉照夫教授による「EM 技術の最新情報」の講演がありました。自滅的状況にある今の地球を救えるのは比嘉セオリーだけであること、問題解決には世界中の学者が本気で比嘉セオリーに取り組む必要があること、EM による土壌改良、塩を肥料代わりに利用する合理性、素粒子・量子、結界の応用などのご講演をいただきました。

次に、当 NPO 愛媛県世話人の野本千壽子様（愛媛 EM 普及協会会長であり、全世界で 3 名しかいない EM 親善大使の一人）より、「鳥獣対策と現代農業」の講演がありました。野本様が愛媛県で長年の試行錯誤で得られた EM による鳥獣対策の研究結果を、数十枚の写真を使って分かりやすく解説いただきました。野本様の鳥獣対策のノウハウに触れ、自分たちでも実施したいという来場者様の声会場あちらこちらで聞かれました。



EM 技術の最新情報を講演する比嘉照夫教授

その後、集いは予定通り進行し、当会の主旨にご賛同いただき、長年にならわって地域の EM 普及にご尽力された今井聖造様と JA 出雲女性部様に感謝状が送られました。今井様は、地元を流れる江の川を日本一の清流にするため、沿川の婦人会を中心に EM 活性液を毎月 800 本配布し、河川浄化に大きく貢献されました。また、JA 出雲女性部様は、平成 19 年に開校した EM 教室のこれまでの取り組みや、近年最も力を入れて取り組まれている千本のトマト栽培とケチャップ加工の事例などを、福間妙子様代表してご発表されました。これら表彰者の事例にありました EM による河川浄化や農業指導には、当会近畿中国地区理事であり、島根県・鳥取県をご担当されている、錦織文子様（EM 実践女子会メンバー）の多大なる功績がございましたことを付け加えさせていただきます。

EM に関するたくさんの体験や新技術などの情報交換が行われ、善循環の輪「島根の集い in 雲南」は、16 時 30 分に滞りなくすべてのプログラムを終了いたしました。来場者の方は、『見返りを求めない真のボランティアが世の中を変える』の当 NPO の創設理念の下、善循環的社会的実現に向けて、全員が気持ちを新たにして閉会いたしました。



研究結果を講演する野本千壽子様



JA 出雲女性部の福間妙子様